(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3141115号
(U3141115)
(45)発行日　平成20年4月24日(2008.4.24)　(24)登録日　平成20年4月2日(2008.4.2)

(51)Int.Cl.　　F I
B42D 15/10 (2006.01)　　B42D 15/10 501Z
B42D 11/00 (2006.01)　　B42D 11/00 P

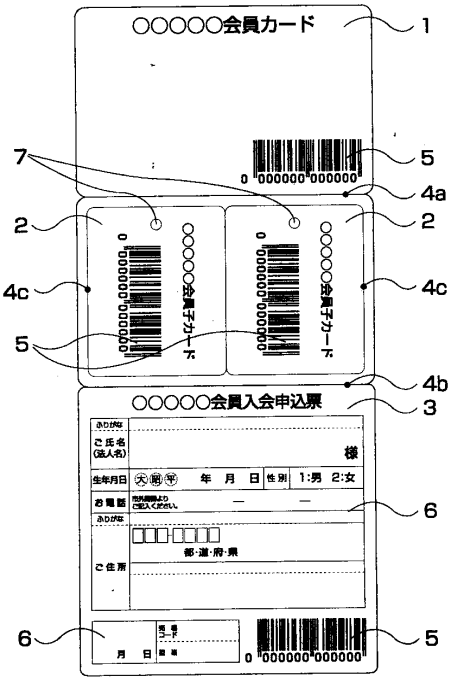
評価書の請求 未請求　請求項の数 3　書面　(全 4 頁)

(21)出願番号　実願2008-756(U2008-756)
(22)出願日　平成20年1月18日(2008.1.18)

(73)実用新案権者　507400527
真下　彪
東京都中央区新川１丁目１５番２号
(72)考案者　真下　彪
東京都中央区新川１丁目１５番２号

(54)【考案の名称】会員カード

(57)【要約】　(修正有)
【課題】会員カードにおいて、会員子カードと入会申込票が連結一体化しており、更に会員カードと会員子カードと入会申込票がそれぞれ切り離すことが出来るプラスチック製会員カードを提供する。
【解決手段】会員カード１と入会申込票３および会員子カード２が連結一体化し、それぞれに同一のバーコード情報５が記載されており、それぞれが折り曲げて切り離すことが出来るようにし、会員カードと会員子カードは会員本人に渡し、入会申込書には会員の個人情報等を記入でき、カード発行元がそのまま会員台帳として使用することを可能にする。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
一方の面にカードの名称や様々なデザインが印刷されており、他方の面にバーコード情報が印刷されている会員カードにおいて、同一の面に同一のバーコード情報が印刷されている単数又は複数の会員子カードと入会申込票が連結一体化されていることを特徴とするプラスチック製会員カード。
【請求項２】
請求項１の会員カードにおいて、連結一体化している会員子カードと入会申込票がそれぞれ容易に切り離すことができる会員カード。
【請求項３】
前記入会申込票には筆記適性のある領域を有することを特徴とする請求項１及び２に記載の会員カード。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、会員であることを示すバーコード等の情報が印刷されているプラスチック製会員カードにおいて、会員子カードと入会申込票が分離されずに連結一体化している会員カードに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来、特定の団体、企業等の会員になるべく入会申込を受け、会員カードや会員子カードを発行する場合、会員カードと会員の個人情報等を記入する紙製会員台帳は別々の体裁であり、会員カードのバーコード情報と会員台帳情報を取り違えることなく発行するのに難があった。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
同一のバーコード情報を有する会員カードと会員子カードに加え入会申込票を連結一体化し、それぞれが切り離せるようにすることにより会員カードと会員子カード及び入会申込票の情報の不整合を防ぎ、会員カードと会員子カードは会員に渡し、入会申込票は会員台帳として利用できるプラスチック製会員カードを提供する。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
本考案のプラスチック製会員カードは、一方の面にカードの名称を示すロゴやデザインが印刷されているが、他方の面にはバーコード情報が印刷されており、同一のバーコード情報は連結一体化している単数もしくは複数の会員子カードと入会申込票にも印刷されており、それぞれ切り離せる様にする。更に入会申込票には筆記適性を有する領域が設けてあり会員の個人情報等が容易に記入できる
【考案の効果】
【０００５】
上述の様に、本考案のプラスチック製会員カードは、カードと会員子カードと入会申込票それぞれに同一の管理用バーコード情報が記載されており、会員が入会を申し込む際に、会員の氏名、住所、生年月日等の個人情報を入会申込票に直接記入し、情報記入後に会員カードと会員子カードを入会申込票から切り離し会員に渡す。会員は更に会員カードと会員子カードを切り離し、それぞれ必要に応じ携帯使用することが出来る。また、入会申込票はカード発行元が会員台帳として利用することが出来る。このように本考案の会員カードを使用すれば、会員情報のある会員台帳と会員カード及び会員子カードは同一のバーコード情報を有しており、会員カードと会員子カード及び会員台帳の不整合の問題は解決される。
【実施例】

【０００６】
以下、添付図面に従って一実施例を説明する。会員カード１は会員子カード２及び入会申込票３と連結一体化しており、切り込み４ａ，４ｂ，４ｃがそれぞれ設けられており会員カード１と会員子カード２と入会申込票３は折り曲げた後それぞれ切り離すことが出来る。会員カード１、会員子カード２、入会申込票３はプラスチック樹脂シートからなり、一方の同一な面に同一のバーコード情報５が会員カード１、会員子カード２及び入会申込票３に印刷されている。更に入会申込票３には氏名、住所、生年月日等の個人情報が記入できるように筆記適性を有する領域６を設けている。必要に応じ会員子カード２にはパンチ穴７を設け会員が保有し易いように配慮する。他方の面にはカードの名称やロゴ等が任意のデザインで印刷される。材料となるプラスチック樹脂シートは硬質塩化ビニル樹脂やポリエステル樹脂、ポリプロピレン樹脂、ポリカーボネート樹脂等が適し、厚さ０．１ｍｍから１ｍｍ程度のシートが望ましい。

【０００７】
本考案の会員カードの利用方法は、入会希望者に氏名、住所、生年月日等の個人情報を入会申込票３の所定の箇所に記入させ、内容を確認した後に会員カード１と会員子カード２を切り込み線４ｂから切り離し会員に渡す。会員は更に会員カード１と会員子カード２を切れ込み線４ａ、４ｃから切り離し、必要に応じ会員カードを携帯使用する。また、入会申込票３は更にカード発行元で必要事項を記入後、会員台帳として使用するが、会員カード１と会員子カード２と入会申込票３には同一のバーコード情報５が印刷されており、会員情報管理が容易かつ正確に成される。

【０００８】
会員子カード２は単数又は複数で形状、大きさは会員カード発行元が自由にデザイン設定をし、必要に応じパンチ穴を設け会員が保有し易くすること等、様々な態様が可能である。

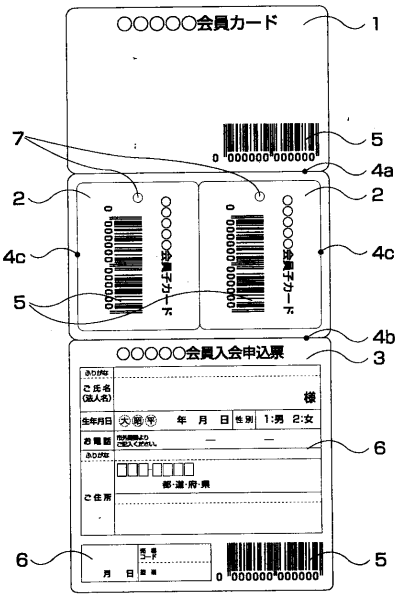
【図面の簡単な説明】

【０００９】
【図１】本考案の会員カードの一実施例を示す表面図である。

【符号の説明】

【００１０】
１・・・・・・会員カード
２・・・・・・会員子カード
３・・・・・・入会申込票
４ａ，４ｂ，４ｃ・・切り込み線
５・・・・・・バーコード
６・・・・・・個人情報等筆記欄
７・・・・・・パンチ穴

【図１】


○○○○○会員カード
1
7
5
4a
2
2
○○○○○会員子カード
○○○○○会員子カード
4c
4c
5
4b
○○○○○会員入会申込票
3
ふりがな
ご氏名(法人名)
様
生年月日
大 昭 平 年 月 日
性別 1:男 2:女
お電話
ふりがな
ご住所
都・道・府・県
6
6
月 日
5
5